

神田錦町学士会館

木戸銭無料

主催 東大落語会

東大落語会寄席

とき 令和四年十月十六日(日)
午後一時開場・午後一時半開演〜午後五時終演

ところ 新会場 学士会館 二階 二〇二号室
都営・メトロ 神保町駅A9出口

演者 紹介

◆於家 馬亜 (おや まあ)

本名 佐藤弘毅。平成六年(法)卒。初心にかえりまして前座をつとめさせていただきます。ざる屋という噺、縁起を担ぐ人が登場します。そりやあ縁起がよくないてえより縁起がいいてえほうがいってもんで。この興行があたりますようにと、そういう思いを込めて高座に。

◆東中亭 どて珍 (とうちゅうぢん どりぢん)

本名 荒瀬寛。平成十三年(文)卒。昨年四十五歳の誕生日には独身だったのに、今年の四十六歳の誕生日には妻と娘と三人家族なっていました。外はコロナ、家に赤ちゃんとお酒を飲む機会も少なくなり酔っぱらい方も忘れましたが、立川志ら乃師匠に稽古していただいた『親子酒』で噺の中でだけでも酔っ払いたいと思います。

◆春風家 目留変 (はるかぜや めるへん)

本名 萩原貞臣。昭和六十二年(文)卒。定年まで一年を切った今年、病院に行く回数が増えています。歯科、眼科、そして今夏は右膝の痛みのため整形外科。例年だと「この噺を最後まで喋れるのかしら」と悩みますが、今回は「最後まで正座ができるのかしら」という新たな不安も。

◆バルク亭 源内 (ばるくてい げんない)

本名 平賀英一。昭和四十七年(文)卒。四年ぶりの舞台でチムドンドンしている演者です。毎回、前回は評判が良かったと誤解して出演を繰り返してご最前筋に迷惑をかけております、まるで落語ネタ『寝床』に出てくる旦那ですが、今回もよろしくおつきあいください。

◆晴れる家 青空 (はれるや あおぞら)

本名 駒形康吉。昭和四十九年(工)卒。これまで年に一度の東大落語会寄席で新ネタに挑戦してきましたが、三年も空き、もうやる気も失せかけたところを、ぐっと気を取り直して、趣向の違う『四段目』に敢えて挑戦することにしました。暖かく笑っていただければ幸いです。

◆相亭 不撰 (あいてい えらばず)

本名 大塚幸雄。昭和五十二年(農)卒。コロナのせいで随分長い間、落語から離れていた気がします。「やっと復活だー」と喜びに打ち震えています。頑張りますが、終わった後、足が痺れて立てないかも…。

◆風呂家 さん助 (ふろや さんすけ)

本名 藤井隆。昭和四十七年(文)卒。自称「武闘派中興の祖」も、古希をコロナ禍で素通り、はや三年。毎年一つの新ネタおろしを東大HCデーで頑張ってきましたが、二年連続で本郷キャンパス開催ままならず、ネタおろし貯金が二席できました。今回はその一つを披露させていただきます。

演目

午後一時半開演

ざる屋 於家 馬 亜

親子酒 東中亭 どて珍

明烏 春風家 目留変

三井の大黒 バルク亭 源 内

仲入り 午後三時十五分頃

四段目 晴れる家 青 空

千早振る 相亭 不 撰

宗珉の滝 風呂家 さん助

午後五時終演予定